

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	予防接種事業			事業番号	011-228
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	感染症対策課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
		寄与するKPI	無	取組の方向性	—	—	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—	—	—
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
		施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
		寄与するKPI	無	取組	—	—	—
		有・無	指標名	—	—	—	
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画				
3	事業開始年度	昭和 23 年度	点検対象年度	令和 7 年度	

4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	予防接種法
---	-----------------	-------

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	予防接種法施行令に定める対象者及び市独自助成の対象者 (延べ約 650,000人)	対象数 650,000	単位 人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	予防接種により、国民全体の免疫水準を維持し、伝染の恐れのある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与する。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>○定期予防接種（予防接種法第5条）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A類疾病にかかる予防接種…BCG、四種混合、三種混合、二種混合、ポリオ、麻しん風しん混合、麻しん、風しん、日本脳炎、ヒブ、小児の肺炎球菌、子宮頸がん予防、水痘、B型肝炎、ロタの予防接種を、それぞれの対象年齢の者に対し、無料で実施する。 ・B類疾病にかかる予防接種…インフルエンザの予防接種を65歳以上の者及び内部疾患の60～64歳の者に対し、一部自己負担（低所得者は無料）で実施する。また、肺炎球菌の予防接種を、年度内に65,70,75,80,85,90,95,100歳となる過去に接種歴の無い者に対し、接種費用の一部自己負担（低所得者は無料）により実施する。 ・新型コロナウイルス感染症にかかる予防接種…国の指示に基づき、新型コロナウイルスワクチン接種に必要な体制を整備し、対象年齢の者に対して無料で接種を実施する。 		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	○任意予防接種の助成 肺炎球菌の予防接種を、65歳以上となる者（上記定期接種対象者は除く）に対し、接種費用の一部自己負担（低所得者は無料）により実施する。		
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	一般社団法人 堺市医師会ほか		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	点検対象年度 令和7年度	
11 麻しん集団発生件数	件	目標値	0	0	0	0	
		実績値	0	0			
		達成率	100%	100%			
当該指標を選定した理由	国において、麻しんの感染力及び重篤性並びに流行した場合に社会に与える影響等を踏まえて、「麻しんに関する特定感染症予防指針」を定め、排除状態の維持を目標としているため。						
目標値の設定根拠・算出方法	国の「麻しんに関する特定感染症予防指針」で、排除状態の維持を定めているため。						
12 活動指標(成果を上げるための手段) 麻しん（麻しん風しん混合）予防接種の接種率	%		実績		目標		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	95	95		95
			実績値	98	91		
達成率	103%	96%					
当該指標を選定した理由	国の「麻しんに関する特定感染症予防指針」で、感染力が非常に強い麻しんの発生予防の最も有効な対策を予防接種による免疫獲得と定めているため。						
目標値の設定根拠・算出方法	国の「麻しんに関する特定感染症予防指針」で、接種率目標（95%以上）が明確化されているため。						

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	予防接種事業	事業番号	011-228
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	2,456,728	9,826,719	5,560,399	7,500,999	5,157,654
13 財源					
国支出金	132,903	7,910,934	3,608,681	5,202,682	3,031,226
府支出金	173,308	334	751	164,299	2,397
市債					
内 其他 (返納金)				10	200
内 受益者負担金(使用料、手数料等)				1	1
内 一般財源	2,150,517	1,915,451	1,950,967	2,134,007	2,123,830
14 人件費 (b)	256,700	240,300	213,000	213,000	131,900
15 年間経費(c)=(a)+(b)	2,713,428	10,067,019	5,773,399	7,713,999	5,289,554

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費		うち 一般財源	項目	年度	事業費		うち 一般財源
		R4	決算				R4	決算	
16 事業費内訳	R4	決算	1,412,715	1,248,569	予防接種健康被害救済経費	R4	決算	319	239
		R5	予算	1,167,137			1,167,137	R5	予算
ワクチン購入等消耗品費	R4	決算	848,279	848,268	予防接種手帳等印刷製本費	R4	決算	3,815	3,815
	R5	予算	920,164	919,963		R5	予算	4,221	4,221
事務費等委託料	R4	決算	11,620	11,620	個別通知等郵送料	R4	決算	7,190	7,190
	R5	予算	13,249	13,249		R5	予算	8,318	8,318
会計年度任用職員雇用経費	R4	決算	2,772	2,772	新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費	R4	決算	5,202,351	0
	R5	予算	2,157	2,157		R5	予算	3,030,920	0
予防接種費用助成金	R4	決算	9,525	9,452	その他 (保険料、委員報酬等)	R4	決算	2,413	2,082
	R5	予算	8,200	8,049		R5	予算	2,478	232

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 乳幼児の定期予防接種者数	人	83,380	81,034
② 上記①にかかる年間経費	千円	424,898	404,496
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	5,096	4,992
備考 (算出についての説明等)		②はヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、B型肝炎のワクチン代合計	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>事業の大半を占める乳幼児期の予防接種について、令和4年度は令和3年度と比較して、出生者数の減少に伴い、接種対象者、接種者数が減少したが、ワクチン代の年間経費も低下したため、単位当たり経費は低下し、費用対効果が向上した。今後も市内の9割以上の医療機関において接種を可能とし、また、里帰り出産等により、市外で接種する場合についても、費用助成を行うことで、医療機関の選択肢を十分に確保する。併せて未接種者に対する接種勧奨、広報による周知活動等を継続していく。</p>
----	---

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>予防接種により国民全体の免疫水準を維持し、多くの人を感染症から守るためには、予防接種の接種機会を安定的に確保するとともに、社会全体として一定の接種率を確保することが国民の命を守るために重要であり、上記記載のとおり、出生者数の減少の中で令和4年度は令和3年度と同程度の接種者数を維持し、単位あたり経費も低減したことから項目7記載の事業目的達成に寄与したものと考える。</p>
----	---